

篠原幸雄からやましたゆきおへ

マンガと生きた50年

18

アニメコミックを創る



ネット配信版・新つれづれ草に掲載の「マンガと生きた50年」は、東京都江東区・森下文化センターにて2017年10月20日(金)から29日(日)の会期で開催しました。新つれづれ草マンガ展「篠原幸雄からやましたゆきおへ マンガと生きた50年」で展示した展示物を再構成したものです。

おやしマンガ同人誌

つれづれ草 **マンガ展**

篠原幸雄からやましたゆきおへ

マンガと生きた50年

おやしマンガ同人誌「新つれづれ草」の山下幸雄は1970年少年ジャンプから篠原幸雄としてマンガ家デビューその後、マンガ家、デザイナー、編集者としての立場を変えながらマンガとの関わりを持ち続けて生きてきた。そして今再び、やましたゆきおとしてマンガを描き始めた！

入場：無料



イラスト：篠原幸雄 (著少年ジャンプと週刊少年マガジン) 関ヶ守の次五)

日時：10月20日(金)～10月29日(日)
午前9時より午後9時まで(最終日は午後5時まで)

会場：森下文化センター1F展示ロビー
お問合せ：森下文化センター
〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17
TEL03-5600-8666 FAX03-5600-8677
都営地下鉄新宿線・大江戸線「森下」駅A6出口より徒歩8分
都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅A2出口より徒歩8分
<http://www.kcf.or.jp/>

主催・新つれづれ草 共催・森下文化センター





18、アニメ「コミック」を創る

「スターウォーズ」のフィルムブック

銀英社にデザイナーとして参加し始めた頃、アメリカで発行された「スターウォーズ」フィルムブックという物を見ました。それは映画のフィルムを使って、アメコミ風なコマ割りで、ストーリーが分かるように編集した物で、フルカラー大判の上製本で高価な物だったと思います。日本のマンガの構成（コマ割り）とは違い、単純でつまらない物でした。当時私は、日本のマンガ風に構成すればもっと面白くなるのにと、残念な気持ちになりました。

「うる星やつら」のアニメ「コミック」

銀英社創設メンバーの一人「Kub」さんは、編集者であり、デザイナーであり、あの「バトルフィーバーJ」の怪人のデザインをやるなど、多彩な才能の持ち主でした。

実際にアニメ「コミック」が出来るようになったのは、彼から、日本名作アニメシリーズの「あらいぐまラスカル」「ペリーヌ物語」のアニメムックのレイアウトの仕事を依頼されたのがきっかけでした。

「Kub」さんの担当していた、少年サンデー編

集部より不定期に発行されていた「うる星やつら」のアニメコミックが月一回の定期刊行物になったが、彼ひとりではやりきれないので、私と一カ月置きに交代でやらないかと、私を少年サンデー編集部で紹介してくれたのでした。



「アニメコミック うる星やつら」(小学館発行)



「アニメコミック タッチ」(小学館発行)

実際は細かな作業の繰り返し

私は、アニメのフィルムを使って日本のマンガ風に再構成するのは、マンガが描ける人でなければ出来ないと思っていました。デザインのノウハウとマンガのノウハウの両方を持つ、自分のための仕事だと、ワクワクしました。

しかし、予算等の関係で8ミリフィルムしか使うことができません、小さなフィルムをルーペをのぞきながら使うコマを「コマ」「コマ」を選んで切り出し、それをマンガのコマ割りに構成した紙面に当てはめてトリミング指示をしていくのは、根気のいる作業でした。



「アニメコミック 天空の城ラピュタ」(徳間書店発行)



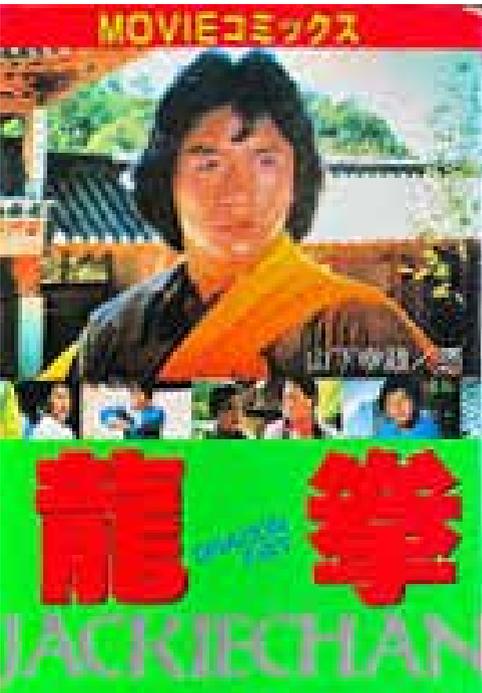
「アニメコミック となりのトトロ」(徳間書店発行)

小学館で「つる星やつら」「タッチ」、徳間書店で「天空の城ラピュタ」「トトロ」「魔女の宅急便」「銀河英雄伝説」、中央公論社で「ベルサイユのばら」「笑うセールスマン」、富士見書房「スレイヤーズ」など、たくさんアニメコミックを作りました。秋田書店では「ジャッキーチェン MOVIE」コミックスも作りました。



「アニメコミック ベルサイユのばら」(中央公論社発行)

富士見書房「スレイヤーズ」の時には、テレビアニメがフィルムからデジタルのビデオでの放映に変わっており、ビデオデータから画像データを取り出し、Macintoshを使ってDTPでレイアウト編集をするようになっていました。



「ジャッキーチェン MOVIE」コミックス (秋田書店発行)